

瓦版「押仲」広報誌創刊号

平成十一年六月十六日 発行編集責任者 細川勝也

○町会長の辞任「あたつて」

平成十一年五月十一日に開催の押上一丁目仲町会の定期総会において町会長を辞任いたしました。

任期中の四年間は皆様の絶大なる理解、ご協力により大過なく終了出来ました事ありがとうございました。

振り返りますと色々のことがありました。走馬灯のように思い出されます。任期中の第一の条件は次期会長の候補者を見出したことでした。幸い、後を託す新会長を迎える事が出来、今後の町会に期待する次第です。なお、私は「押仲すこやかチーム（OST）」の会員を引き受けさせていただきました。引き続き支援賜りますようお願いいたします。

○新町会長の就任「あたつて」

この度新しく会長に就任いたしました細川です。未だ未熟な私ですが、先輩方の助言を頂きたながら町会の皆様と新しい町作りの為に全力を尽くすつもりです。どうぞ宜しく支援のほどお願ひいたします。

当面は仲々会合を重ね、色々な新しい町作りを目指し常に新企画を考えて行きたいと思います。

幸い、事業部長さん達の努力により新しい体制を作り上げました。
皆様どもよろしくお手に取ってください。

○広報誌の発行「あたつて」

第五代会長 熊谷恵二

「押仲」広報誌の発行はあたり第五代会長としてお祝い申し上げます。私達が苦労して築き上げたこの町会を、新会長のもと新体制で、誰もが「安心して住める」町作りを期待します。

町会の皆さんにお互いに協力し合いながらそれの持つ能力を十分に發揮していく事が大事と考えます。

運営にあたってはこれから色々困難な場面に直面する事と思いますが、お互いに協力しながら後の発展を目指して新しい押仲町会を築き上げてください。

おしなが

○私の趣味（第一回）

多賀和弘

若い頃から山歩きを樂しみ、丹沢の尾根、沢登より初め、山仙洞などにその後は谷川岳、ハケ岳、富士山など山頂に着いた時の爽快感途中的苦しみが何とも忘れられず、月一回のペースで山行をいたしました。その後業界の山の会を設立し、リーダー会長に属し、計画並びに実行後輩の指導にも当たる北、中央、南アルプスにも行き季節には古人を越す会員数にもなり、スキーや登山ではバスや自転車をチャーターしたことありました。

昭和三十四年当地での開業を機に「家業」に専念するため山行を断念しました。

朝、時より夜十一時まで年中無休で働きました。六十歳の頃娘と共に扇巣に一泊で行くことになり、久しぶりに喜び勇んで出掛けたところ、足かり歩けなくなってしまいました。「これでは山歩きを断念せざるを得ず、あきらめていたが、仲の良かった後輩が六十歳で死んでしまった報を聞き、彼の冥福のため山歩きをしたいと心がけ低山から始め足慣らしもしましたが、毎朝の散歩のおかげか足がつりません。昨年より本格的に復活登山をしたいと思い、立山連峰、八甲田連峰その他奥多摩の山々を定期的に行き楽しんでおります。

今年は 奥穂高岳、西穂高岳を目指しております。

名賀和弘

○町会新役員および関係責任者等は以下の通り決まりましたのでお知らせします。（敬称略）



会長	細川勝也	総務部長	奥山達夫
副会長	高橋邦夫	地域安全運動部長	深田和宥
	沖山泰則	防火防災部長	並木行雄
会計	五月女穂	交通部長	久保田甚一
	石田清治	福利厚生部長	大木茂
会計監査	荒井金次	青少年育成部長	沖山泰則
	駒崎健一	環境衛生部長	大井政弘
	安藤勝康	会館管理部長	石田輝雄
	浅賀忠嘉	慶弔部長	水谷美雄
婦人会会長	中村久美子	子供会会長	東海敬子
押仲すこやかチーム（OST）会長			多賀和弘
民生委員	熊谷恵二		

○広報誌発行「あたつて」

細川勝也

今日マス・メディアを通しておびただしい情報が舞り注いでいますが、自分を振り返ってよく見ると私達の周りにある情報は、どれも似かよつたもので、かんじんのわが町、わが地域に係るものは決して多くありません。地域の中にはぱりといい活動があつても、案外知らないまま過ごしてしまっています。

身近な情報によって日常の暮らしを楽しく充実させられるような生きた情報をもっと豊富に掘りおこし、地域の誰もが受け手であるばかりか、発信者となっていく必要があります。この手作りの広報誌「押仲」が他にむけなどらない独自の存在価値を持つ色んなレベルで人と人とを「交流」させ、刺激を行い、情報を交換し、協力関係を築いて行きました。

○トピックス&読書部会報告など

押仲町会の皆さん、お存知ですか?

押仲すこやかチーム（OST）の方々の人口構成をお知りましょう。

（五月OST発行の名簿から）

六十歳以上の皆さん現在一〇七名で（男性四十二名、女性六十五名）となっています。

※年齢別構成は次のとおりです。

六十歳以上 四十九名（男性二十四名、女性二十五名）

七十一歳以上 四十名（男性十三名、女性十七名）

八十一歳以上 十五名（男性五名、女性十名）

九十歳以上 一名（男性〇名、女性〇名）

一〇〇歳 一名（男性〇名、女性一名）

※恒例の隅田川花火大会が七月三十一日（土）に開催されます。

つきましては、例年どおり押仲町会の地域安全運動部・交通部・防火防災部なら各部の皆さん協力のもと、無事大会が実施されるよう協力をお願いいたします。

（名 部 長）

※今年は町会の旅行の年にあたります。

つきましては、皆さんの旅館に関する情報など、ご意見がありましたらお寄せください。

（福利厚生部長）

※音楽品回収協力のお願い

押仲町会の音楽品回収についてはいつも協力ありがとうございます。

回収は毎月第一金曜日の朝九時からとなっておりますので宜しくお願ひいたします。

（婦人会＆子供会）

○押仲すこやかチーム（OST）

町会に老人会を作るよりとの区役所の要請により発足することになりました。

まず、会の名前を定めるにあたり、役員一同貢献の健康を願い「すこやか」の言葉を入れ、二十一世紀を目の前にして、今までの「会」「クラブ」を意識して使つて止めて「チーム」といたしました。

会員は六十歳以上（まだ）でも参加できます。発足以来まだ一年半ですが、活動状況としては「黙多連」の行事の参加、OST独自のバス旅行、カラオケ練習会、会員開放日など色々考え方、皆様がより楽しくお話し出来る機会を作りたいと考えております。

この春は「口を聞くで行った演奏会が誠に楽しい企画だったと喜んでおります。「これからも色々企画しておき、誕生会（月一ヶ月）」「回行」、「アカデミック会員開放日」なども色々考え、皆様がより楽しくお話し出来るように参加して頂きたく願っております。

これからも高齢化社会の担い手として頑張り、健康なチームの発展」

力を引き、町会にも協力して行きたいと思います。（多賀左知子）

○ひのゆの子供会

現在、私達ひとりの子供会に在籍する子供達は、小学生が二十名中

学生は八名です。

かつて、路地裏に子供達の声があふれていた頃を「そんじの方々には寂しい限りです。朝の集団登校のときなど「おはようございます」の一聲に元気がなく、元気だけはあった自分達の子供時代を思つて、これも時代のかな納得するしかありません。

そこで、もしよろしければ、町内会で出来た子供達、なんでも結構ですので一声かけてやつてしまい。おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさん、おはさんの声でこの町内の子供達を育ててください。お願いいたします。最後に華平小学校のバザーの提供品、そして子供110番を各町内会の方々には協力をいたまき取り難ございました。

会食の東海敬子以下、微力ではありますが子供達のために頑張つて行きたいと思います。今後とも、町内会の方々の温かい支援をよろしくお願いいたします。

（東海敬子）

○押上一丁目仲町会婦人会

会員は現在六十九名になつております。婦人達の親睦と町会の行事の手伝い等を趣旨として積極的に活動を行つております。

今年は、すでに毎年恒例の旅行を五月九日（日）に二十六名の方々の参加のもと実施致しました。場所は「尾瀬・吹割の滝」で日帰りで行つております。天候にも恵まれとても楽しい一日を過ぎました。

なみ、今年から新会員として中村久美子が勤めさせていただきます。前会長の多賀佐知子様には永らく会長を務めていたたき、苦勞様でした。婦人会の皆様に代わつて厚くお礼申し上げます。

これから力を合わせて一生懸命勤めさせていただきますので、温かい

一支援のほどよろしくお願い申し上げます。

又、みなさま婦人会に入つて親睦を深めてみませんか？

新しい方の入会をお待ちしています。（中村久美子）

※パソコンに触れてみませんか？

今日の日進月歩の時代から取り残されない為に「これら」の知識を持つておく事は是非必要と考えます。

幸い、他町会でも実施していないようですが、「押仲町会の目玉」の一つとしても面白いかと思います。

さしあたって「自分の名刺作成」「挨拶状作成」「署名見舞い作成」

「年賀状作成」「年賀状作成の為の住所録整理」等やってみませんか？

「希望を聞きながらセレクトしていくみたいと思いますので」意見をお寄せください。

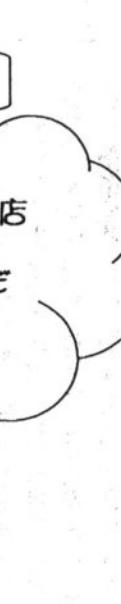
○広報誌作成の構成メンバー（最終稿）

（編集部 奥山 櫻井）

（編集員）細川 高橋 沖山 五月女 奥山 櫻井

（OST）多賀左知子、石田忍子、（婦人会）大橋 田辺

（子供会）東海 井上 以上の方々の協力を得て作成しました。



綜合衣料おしゃれの店

マルエヘンダ
3622-3523

食中毒、虫歯予防にお茶をどうぞ！
芳若園茶舗
3623-6075

園芸用品のご用命は

駒崎商店

3622-3270

○編集後記

「押仲」創刊号は如何でしたでしょうか。今年度はあと三回の発行を予定しております。皆さんのが知らなかつた事などを含め、みんなの町を楽しくする為にバラエティに富んだ記事を集めて行つつもりです。

今後の記事について皆さんのが意見を寄付したら、遠慮なく編集委員に対しても意見をお寄せください。